

かなた 『銀河鉄道の夜』の彼方へ

死の淵を越え、遙かな朝明けに向かって

『銀河鉄道の夜』 これまで多くの読者に愛読され続けてきた宮沢賢治の代表作の一つ。静かな深い悲しみをたたえた、まさに“名品”ともいえるこの一作が、読む者の心をひきつけてやまないのはなぜか？

ついに“未定稿”のまま残されたものの、賢治は晩年に至るまで何度も草稿に手を入れ続けた…。この名作にこめられた賢治の“思い”とは？

長年、賢治作品に親しんできた元国語教師の宮田氏がこの謎に迫ります。賢治の作品の真実の姿を追い求めてきた“愛読者”が語る『銀河鉄道の夜』の魅力。これから賢治の世界をのぞいてみたい、そんな“初心者”の方も大歓迎です！

10/27(土)14:00~15:15

講師 宮田晴夫 氏 (元公立小・中学校教員)

場所 天白図書館 第一集会室

定員 高校生以上の方 30名

申込み 先着順に当日受付



参加
無料

名古屋市天白図書館

〒468-0054

名古屋市天白区横町 701

TEL (052)803-4188

FAX (052)803-4190

名古屋市図書館 HP <http://www.library.city.nagoya.jp>